

令和8年度前期 公開授業が開催されました

6月に、今年度1回目となる公開授業を開催しました。本授業では、インターネット上で利用できる多様な英語学習・英語教育のためのウェブサイトを題材に、その有用性や質を学生自身が評価しました。学生は、「Website Evaluation（ウェブサイト評価シート）」を用いて実際にウェブサイトを検証し、その結果をクラス全体にプレゼンテーションしました。こうした活動を通して、ウェブサイトを教材として活用する際に、その内容や使いやすさ、学習への効果などを多面的に判断する視点を身につけることを目指した授業です。また、こうした評価の視点は、今後、学習アプリなどのデジタル教材を評価する際にも応用できるものです。授業の公開を快くお引き受けくださった Melodie 先生には、心より厚く御礼申し上げます。以下、当日の授業の様子と、ご参加くださった教員のみなさまから寄せられたご意見の一部をご紹介します。

なお、FD 委員会では、今後も教員相互の学びの機会として公開授業を実施してまいります。ぜひ多くの先生方のご参加、さらには授業公開へのご協力をいただけますよう、お願い申し上げます。

【日時・場所】6月30日（火）1限 1号館B棟1256教室

【教職員参加者数】5名

【授業科目】Principles of Language Teaching

【担当教員】Cook, Melodie Lorie 教授

【対象学科・学年】国際地域学科・3年

【テーマ】In this lesson, students will use guidelines for examining the fitness of websites that offer learning activities. Groups of students will be assigned different websites to share with the class along with their analysis based on the guidelines.

【当日の授業の概要】

本授業は演習形式で行われ、学生一人ひとりが異なる英語学習・英語教育系のウェブサイトを評価し、英語で発表を行いました。まず、「ウェブサイト評価とそのプレゼンテーション」についての説明後、教員から「ウェブサイト評価シート」が学生に配布されました。この評価シートには、ページの読み込みの速さ、サイト内の移動のしやすさ、話者のアクセントの聞き取りやすさ、アクティビティの取り組みやすさ・楽しさ、どのような英語スキルの向上に役立つか、広告の有無、友人に勧めたいか、といった項目が設けられていました。さらに、サイトでできる活動の内容や感想、総合評価も記入する形式となっていました。学生は、担当するウェブサイトを約15分間実際に操作しながら確認し、評価シートに記入しました。その後、各学生がクラス全体に向けて、サイトの内容や評価について英語でプレゼンテーションを行いました。発表後には教員からサイトの背景情報や利用する際の注意点などについて補足

説明が加えられました。ウェブサイトを紹介されて終わり」にするのではなく、学生自身が実際に使い、評価し、その理由を英語で伝えるという活動を通して、デジタル教材を批判的に捉える視点と、英語で発表する力の育成を目指した授業でした。



参加者アンケートより（一部抜粋）/Feedback

【1. 今回の授業の感想をお聞かせください。】

- ・ デジタル英語教育についての学生の関心を高め、英語教授法にも有益な授業であった。その一方で、参考になるHPを選ぶ視点も身につけられると考えた。
- ・ 英語教師を目指す学生に対して、身近に利用できるツールをただ紹介するのではなく、各学生に紹介するwebサイトを割り振り、それをプレゼンしてもらうということがコミュニケーションスキルや話す力の向上にも繋がるため、良かった。また、クック先生より、活用の仕方についての説明があったことも良かった。学生同士の会話を促すところがあっても良いのではないかと感じた。
- ・ very good topic for speaking and critical thinking

【2. 今回の授業を参観して、ご自身の授業をどのように振り返られましたか。また、授業に生かしたいと思ったことなど、御自由に御記入ください。】

- ・ 学生の関心を高める努力、プレゼンへの有益なフィードバックがとても参考になった。
- ・ 学生が自身の意見を言いやすい雰囲気づくり、簡単なプレゼンなどをさらに授業に盛り込むことが効果的ではないかと感じた。